

# 東京iCDC（東京感染症対策センター）について

名称：東京感染症対策センター

略称：東京iCDC

英語名：Tokyo Center for Infectious Diseases Prevention and Control

- 東京iCDCは、感染症に関わる様々な領域において、調査・分析、情報収集・発信などを行う **専門家のバーチャルネットワーク**
- あらゆる感染症を対象に、感染状況や医療提供体制の状況を踏まえ、**専門家の視点から、ステージに応じた助言を実施**
- 東京iCDCの中心的な役割を担う専門家ボードには、**専門分野ごとの9チーム**を設置
- チームのほか、客観的な立場から知見を活かした助言をいただく**外部アドバイザー**も選任
- さらに、感染症に関する特定の事項を検討する「**タスクフォース**」を設置

## 東京iCDC専門家ボードのチーム

<b>疫学・公衆衛生チーム</b> R2（2020）.10.1～	<b>リスクコミュニケーションチーム</b> R2（2020）.10.1～	<b>研究開発チーム</b> R3（2021）.1.4～
・疫学調査に基づく感染リスクの分析評価 ・感染状況や将来予測などを踏まえた助言	・広報・広聴など双方向の情報共有に基づく感染症対策の検討 ・幅広いリスクコミュニケーション活動について助言	・感染症に関わる幅広い領域における研究・取組等の情報収集 ・国内外の諸研究の成果・知見の都における活用の検討
<b>感染症診療チーム</b> R2（2020）.10.1～	<b>感染制御チーム</b> R2（2020）.12.1～	<b>人材育成チーム</b> R3（2021）.3.30～
・症例の解析と効果的な感染症診療の検討 ・新たな治療法の評価、後遺症対応等の検討	・最新の科学的な知見から、場面に応じた感染制御に係る効果的な対策の検討 ・マニュアル策定等の検討	・都内における感染症対策を担う人材の研修や育成プログラムの充実に向けた検討
<b>検査・診断チーム</b> R2（2020）.10.1～	<b>微生物解析チーム</b> R3（2021）.1.4～	<b>情報マネジメントチーム</b> R4（2022）.10.20～
・検査・診断手法の評価分析、新たな手法の確立などの充実に向けた検討	・感染症の伝播性・病原性・遺伝子変化などについての評価・解析 ・ワクチンや治療薬などについての情報収集	・感染症に関する情報の収集、管理、活用等データマネジメントの在り方について検討

# 東京 i C D C の取組

「感染症に強い都市・東京」の実現に向けて、以下の3つを柱として取組を推進

インテリジェンス  
機能の強化



調査・分析  
情報管理

都市、機関  
へ訪問

国内外のネットワークや調査・分析機能の充実を図り、東京 i C D C のインテリジェンス機能を強化

- 海外の都市や研究機関等への訪問や、学術集会等の機会を活用したアカデミアとの連携等を通じ、国内外の人的・組織的ネットワークを拡充
- 新型コロナのゲノム解析や下水サーベイランスのほか、先端技術を活用した実証実験を実施するなど、調査・分析機能を充実

都の効率的  
な感染症  
対策  
の実施を支援



未知の  
感染症  
への備え

人材育成  
の推進

あらゆる感染症を対象に、東京 i C D C の専門的知見を提供し、都の効果的な感染症対策の実施を支援

- 東京 i C D C 等の専門家が、都の様々な部署が行う感染症関係施策に対する助言を実施
- タスクフォースの機動的な活動により、薬剤耐性菌（A M R）など、次の脅威に向けた課題に対応
- 保健所等の現場と連携し、感染症の専門人材の確保・育成を推進

社会全体の感染症  
対応力を向上



行動計画  
予防計画

地域社会

社会全体の感染症対応力の向上を図り、サステナブルな都市の形成に寄与

- 家庭や高齢者施設等で役立つ感染対策ツールの作成や東京 i C D C フォーラムの開催など、感染症に係る様々な普及啓発活動を通じ、地域社会の感染症対応力を向上
- 新型コロナの罹患後症状（後遺症）について、ポータルサイト等を活用し、理解促進等の普及啓発や医療従事者等向けのオンライン研修会等を実施

# 東京iCDCの取組（海外の感染症関係機関とのネットワーク構築）

- ✓ 感染症に国境はなく、パンデミックへの備えを強固にするためには、平時から海外の都市や感染対策関係の専門家、研究機関等との密なネットワークを構築し、世界の感染症の発生状況や対応状況を共有することが重要
- ✓ 東京iCDCは、海外の感染症対策の中心的な役割を担う機関等への訪問を行い、感染症対応に係る海外の先進事例や課題の解決に向けた取組をヒアリングするとともに、都の取組をPRすることで、顔の見える関係を構築

## 東京iCDCのグローバルネットワーク



# 東京 i C D C の取組（「世界薬剤耐性(AMR)啓発週間」における普及啓発）

✓ 喫緊の課題である薬剤耐性（Antimicrobial Resistance）の認知度向上と抗菌薬の適正使用に向け、令和7年度から「世界薬剤耐性(AMR)啓発週間※」に合わせた普及啓発を開始

※ WHOは、毎年11月18日～24日を「世界薬剤耐性（AMR）啓発週間」と定め、AMRに対する意識向上と理解促進に向けたキャンペーンを実施

## <期間中の取組>

### ・ポスター展示、グッズ配布等

国立健康危機管理研究機構（JIHS）と連携し、都庁第一本庁舎1階中央アートワークにて啓発ポスターの展示等を実施

➢ 期間：11月20日(木)～21日(金)

### ・隅田川橋梁群のライトアップ

隅田川に架かる10の橋を青色にライトアップ

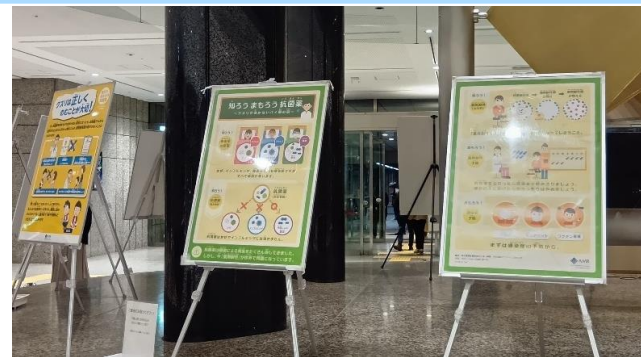
➢ 日時：11月20日(木) 日没の15分後～23時

### ・薬剤耐性(A M R)対策HPの公表

都民の理解促進に向け、新たに情報を掲載

<主な掲載内容>

- ・薬剤耐性とは/感染症と細菌、ウイルス等
- ・薬剤耐性菌を増やさないために
- ・Q&A 等



【展示イメージ】

【ライトアップイメージ】



【ホームページ画面】

#### 薬剤耐性（AMR：Antimicrobial Resistance）とは

抗菌薬・抗生物質：細菌が原因の感染症の時に使用して、その細菌をやっつけたり増えるのを抑えたりするために使用する薬を抗菌薬と言います。  
抗菌薬のうち、カビなどの微生物から作られた化学物質のことを「抗生物質」といい、代表的なものに青カビから発見された「ペニシリン」があります。一方、抗菌薬には、人工的に作られた化学物質もあり、「抗菌薬」は、抗生物質も含む総称としても使われます。  
なお、抗菌薬・抗生物質は、細菌が原因の感染症には効果がありますが、ウイルスが原因となっているウイルス感染症には効果はありません。ウイルス性感染症で薬が必要な場合は、抗菌薬ではなく抗

抗菌薬  
抗生物質

【抗菌薬と抗生物質の関係】

✓ 今後も、東京iCDC AMRタスクフォースの協力を得ながら、「普及啓発・教育」、「動向調査・監視」、「感染予防・管理」、「精度管理」を柱として取組を検討

# 東京 i CDC の取組（「日常で役立つ！感染症予防ハンドブック」及び家庭向け感染対策動画の作成）

## ✓ 感染対策を行う際や感染症と診断された際の対応をわかりやすく解説したハンドブックを作成



### 【概要】

- ◆ 主な感染症を網羅した日常で役立つ実用的なハンドブック
- ◆ 基礎編、疾病別の対策編等で構成〔全103ページ〕

#### （基礎編）

- ・ 「日常」と「症状が出た時」の感染対策
- ・ 発熱、せき、腹痛などの症状で悩んだときや受診するか迷ったときの参考となる情報
- ・ 「食中毒予防」や「予防接種」の情報 など

#### （疾病別の対策編）

- ・ 都民自身や家族が感染症と診断された際の対応の参考となる情報〔疾病別(全25疾病)〕

## ✓ 上記の「感染症予防ハンドブック」を基に、家庭でできる感染症予防についての動画を作成

### 【概要】

- ◆ 動画10本（1本あたり1～4分程度）、ショート動画5本（1本あたり1分程度）

### 【家庭向け感染対策動画（主な内容）】

#### 次亜塩素酸ナトリウム液の作り方



#### 下痢便・おう吐物の処理の方法



#### 食中毒予防



#### 予防接種



# 東京 iCDC の取組（新型コロナ後遺症に関する普及啓発）

- ・令和6年度に、コロナ後遺症への理解促進に向け、都民と医療従事者向けの情報発信をより充実させるとともに、知りたい情報へのアクセスの向上を図るため、新型コロナ後遺症ポータルを開設
- ・今年度には、夏と冬の新型コロナの流行期に合わせて、新型コロナ後遺症ポータルサイトや後遺症の解説動画等の認知度を高め、後遺症への理解促進等を図るため、SNS広告及び新宿駅西口デジタルサイネージを活用した広報を実施（2/16～3/15）

## 新型コロナ後遺症ポータル

- ・情報の一元化  
✓ 複数に分かれていたページを統合、アイコン等で操作性を向上
- ・子供や就労者向けの情報を掲載  
✓ 子供と就労者の後遺症の特徴、症状がある場合の対応・留意点等を掲載
- ・後遺症対応医療機関の検索機能  
✓ マップ、リストの掲載に加え、検索機能を追加
- ・Q&Aの掲載等  
✓ iCDCの専門家によるQ&Aや解説動画、医療以外の相談に関する情報を掲載
- ・スマートフォン版の作成 等

### 【ポータルサイト画面】



### 【検索画面】



### 【スマートフォン版】



英語版動画はこちらからご覧いただけます →



# 東京 i C D C の取組 (東京iCDCフォーラムの開催)

<概要> 日程：令和8年1月24日（土曜日）・25日（日曜日）

会場：都庁第一本庁舎5階大会議場 現地参加（定員300名）及びオンライン配信

英語版プログラムは  
こちらからご覧いただけます →



## 【1日目】都民向けシンポジウム

テーマ 感染症×子供



(R7年度の開催状況)

- 知事ご挨拶  
(ビデオメッセージ)
- 専門家による講演  
(東京iCDC専門家、医師、大学教授、保健所職員)
  - ・注意したい子供の感染症
  - ・子供の免疫力を高める生活習慣
  - ・子どもが集う施設における集団感染対策
- 庄司智春氏と専門家によるトークショー  
3児の父として育児中の経験から育児世代の代表として、子供と感染症に関する様々な疑問を専門家に尋ね、講演の専門家が具体的なアドバイスや情報を提供。
- 感染症予防普及啓発ポスターコンクール表彰式  
最優秀賞、優秀賞の小学生に表彰状と賞品を授与  
ロビーに最優秀賞、優秀賞の作品を展示

## 【2日目】感染症対策関係者向けシンポジウム(日英同時通訳有り)

### ■ 東京iCDC専門家による座談会 【薬剤耐性 (AMR)】

- ・日本と世界の状況(大曲貴夫先生)
- ・医療現場の現状と取組み(具芳明先生)
- ・英国におけるAMR対策(アリシア デミルジャン先生)



(R7年度の開催状況)

### 【リスクコミュニケーション】

- ・パンデミック時におけるリスコミ(武藤香織先生)
- ・平時におけるリスコミ(奈良由美子先生)
- ・取材現場から考える感染症対応(小嶋修一先生)

### ■ 討論会

～感染症対策における連携や今後の展望について～

- 登壇者：内閣感染症危機管理統括庁（迫井正深先生）  
国立健康危機管理研究機構（脇田隆字先生）  
東京都（成田友代先生）、東京iCDC（賀来満夫先生）



アーカイブ動画  
(AMR)



アーカイブ動画  
(リスコミ)



アーカイブ動画  
(討論会)

ご清聴ありがとうございました



都民の健康と生命を守る

東京都保健医療局